

2015年3月期第1四半期 ご参考資料

日本通運株式会社 経営企画部(IR)

I. 経営状況

- | | |
|-----------------------|-------|
| A. 2015年3月期第1四半期決算の概要 | P. 1 |
| B. セグメント別状況 | P. 2- |
| C. 国際関連事業売上高比率 | P. 6 |

II. 外部環境の変化

- | | |
|------------------|------|
| A. 増減要素(1Q) | P. 7 |
| B. 外部要因の想定(2Q以降) | P. 8 |

2014年7月31日

I. 経営状況

A. 2015年3月期第1四半期決算の概要

1) 概要（連結）

（単位：億円、％）

	2015/3期 1Q実績 ①	2014/3期 1Q実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②	増減率 (前年比) ④=③÷② x100	上半期予想 (5月8日 発表) ⑤	進捗率 ①÷⑤ X100	差額 ⑤-①	通期予想 (5月8日 発表)
売上高	4,529	4,087	441	10.8	9,000	50.3	4,470	18,700
営業利益	91	80	11	14.5	200	46.0	108	450
経常利益	120	110	9	8.7	240	50.1	119	530
当期 純利益	47	68	△21	△31.3	160	29.4	112	300

（億円未満切捨て）

2) 連結経営指標

（前年同期実績）

・売上高営業利益率	2.0%	(2.0%)
・売上高経常利益率	2.7%	(2.7%)
・ROE	3.6%	(5.3%)
・ROA	1.4%	(2.1%)

I. 経営状況

B. セグメント別状況

1) 複合事業

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	1,809	1,748	60	3.5	3,639	49.7	1,829
セグメント利益	25	23	2	11.0	71	35.8	46
概況	・ 消費税増税後の反動減は限定的であり、自動車運送、鉄道取扱が堅調に推移し、増収						

2) 警備輸送

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	138	136	1	1.0	277	49.9	138
セグメント利益	3	3	0	3.1	5	65.2	1
概況	・ 顧客からの合理化要請が一巡し、新規の設定便業務も開始したため、増収増益						

3) 重量品建設

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	127	93	34	36.5	207	61.8	79
セグメント利益	5	5	0	15.1	11	51.5	5
概況	<ul style="list-style-type: none"> 国内では、シャット・ダウン・メンテナンス業務、風力発電関連が堅調に推移し、増収 海外においても、マレーシアでの大型プラント工事等が好調につき、増収 						

I. 経営状況

B. セグメント別状況

4) 航空

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	443	435	7	1.7	916	48.4	472
セグメント利益	6	10	△4	△39.2	27	24.1	20
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出貨物の重量が減少したが、好調な輸入貨物と国内貨物に支えられ、増収 ・ 輸出販売単価の下落および、輸入の拡大にともなうオペレーション体制の再構築により、各種費用が増加し、減益 						

5) 海運

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	292	338	△46	△13.6	611	47.9	318
セグメント利益	15	21	△5	△28.1	30	49.9	15
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般商業貨物の輸出が回復せず、輸入も低調に推移したため、減収 ・ 海外引越輸出においても、引越規模の小型化などにより、減収 						

B. セグメント別状況

6) 米州

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	182	158	24	15.3	368	49.7	185
セグメント利益	9	2	6	242.1	12	72.0	3
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国域内のトラック輸送、倉庫配送が好調 ・ メキシコでの自動車関連設備輸送により、海運・輸入フォワーディングが堅調 ・ 現地通貨ベースでも、増収増益 						

7) 欧州

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	197	163	33	20.7	397	49.7	199
セグメント利益	4	1	3	337.2	6	78.9	1
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラック輸送を中心とする域内ビジネスは苦戦 ・ ドイツ、オランダ、英国において、航空フォワーディングが好調 ・ 現地通貨ベースでも、増収増益 						

B. セグメント別状況

8) 東アジア

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	230	196	34	17.5	471	48.9	240
セグメント利益	3	2	1	64.9	8	41.2	4
概況	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連のトラック輸送が増加 香港、台湾、韓国における倉庫配送の取扱いも堅調 現地通貨ベースでも、増収増益 						

9) 南アジア・オセアニア

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	139	115	23	20.8	285	48.8	145
セグメント利益	2	1	1	51.9	6	43.7	3
概況	<ul style="list-style-type: none"> シンガポールの重機建設事業、タイの航空・輸出フォワーディングが伸長 フィリピン、ベトナム、インドネシアでの航空・輸出フォワーディングおよび倉庫配送の取扱いが増加 現地通貨ベースでも、増収増益 						

I. 経営状況

B. セグメント別状況

10) 販売

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	1,021	914	107	11.8	2,031	50.3	1,009
セグメント利益	15	10	5	53.3	23	66.4	7
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油類の販売単価が上昇したことにより、増収 ・ 輸出梱包をはじめとするロジスティクス・サポート事業が回復し、増益 						

11) その他

	1Q実績	前年同期対比			上半期業績予想(5/8発表)対比		
	15/3期	14/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	266	91	175	191.3	510	52.3	243
セグメント利益	2	1	1	73.9	6	37.1	4
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日通・パナソニック ロジスティクス社が収入の増加に寄与 ・ ロジスティクスファイナンス事業が堅調に推移し、増収 						

C. 国際関連事業売上高比率

目標	進捗状況
2016年3月期 国際関連事業売上高比率 40%	2015年3月期1Q実績 33.2% 【参考】 2014年3月期 32.5%、2013年3月期 29.7%、2012年3月期 30.8%

II. 外部環境の変化

A. 増減要素（1Q）

変動要素	連結業績への影響 (1Q)	参考
燃油費単価変動による影響	燃油費 4.3億円 (費用増)	(前年同期) 軽油 : 120.08円/ℓ (111.35円) ガソリン : 151.99円/ℓ (143.65円) 船舶重油 : 73.97円/ℓ (69.36円)
為替(円安)による影響	売上高 71.2億円 営業利益 1.2億円	(前年同期) USD : 102.78円 (92.42円) EUR : 140.79円 (122.04円) HKD : 13.25円 (11.92円) RMB : 16.90円 (14.88円)

II. 外部環境の変化

B. 外部要因の想定（2Q以降）

変動要素	連結業績への影響 (2Q以降の9ヶ月)	前提条件
燃油費単価変動 による影響	燃油費 8.7億円 (費用増)	(前期年間平均) 軽油 : 121.63円/ℓ (114.92円) ガソリン : 152.13円/ℓ (147.21円) 船舶重油 : 73.73円/ℓ (71.24円) 使用量は前年と同量と想定
為替(円安) による影響	売上高 81.7億円 営業利益 1.2億円	(前期年間平均 ^(※)) USD : 102.50円 (97.65円) EUR : 141.00円 (129.68円) HKD : 13.20円 (12.59円) RMB : 16.80円 (15.91円)

(※) 年間為替レートは参考値。決算では四半期平均レートを、現地通貨建の四半期実績に適用している。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。